

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	12	4	10	8	11	7	12	12 (13)	17	19
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	14	5	7	15	11	12	3	9 (11)	9	21
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	1	0	1	1	1	1	3	2	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	3	1	4	4	6	6	8	3 (5)	1	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	2	6	1	1	3	4	2	0	4 (5)	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	3	3	0	1

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第14週(4月4日~4月10日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	1	結核	1			1				
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1						1	
五類	8	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1			1				
		梅毒	7	1				5		1
新型インフルエンザ 等感染症	7,525	新型コロナウイルス感染症	7,525	749	408	997	155	3,356	402	1,458

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

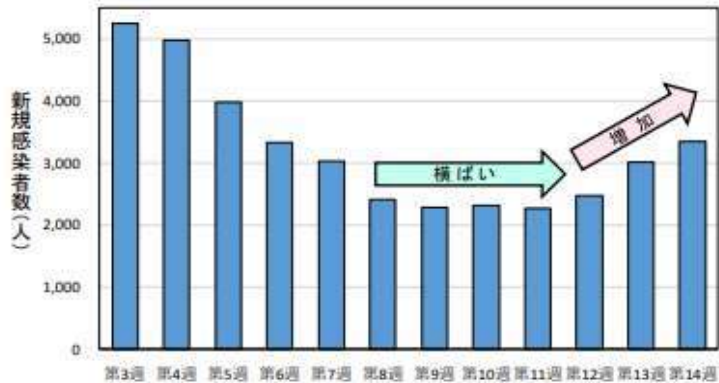
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第14週に3,356件の報告がありました。第8週から第11週の間は、1週間当たりの新規感染者数が最も多かった令和4年第3週の4割強の水準で横ばいに推移していました。しかし、第12週から増加に転じており、感染の再拡大が懸念されます。

マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気などの基本的な対策に加え、出勤者の削減、体調不良時の早期受診、検査の積極的受検などの対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



2 梅毒

5件の報告があり、今年の累計は58件となりました。感染症法施行後の年間最多件数(105件(2018年、2021年))の半数を既に超過しており、非常に多い状況です。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

保健センターの無料・匿名の梅毒検査

広島市の保健センターでは、無料匿名の梅毒検査を実施しています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	1.06			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.07		
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.23			眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.25		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.08	1.53				急性出血性結膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	62	2.58	5.53			基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.63		
	水痘	3	0.13	0.26				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	10	0.42	0.19				無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	-	-	0.12				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11		
	突発性発しん	4	0.17	0.34				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.06				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.91		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	梅毒	5	58	20歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・1人、60歳代・1人